

つつい tsui-tsui

意味

「つい」(＝はからずも。思わず)の強調。

説明

衝動的な行動に対して、意志に反したことや無意識であったことなどの弁解に使う。

用法

「悪いと知りながら～やってしまった」

つうつう tsuu-tsuu

意味

互いが(なにも語らなくても)通じ合える間柄。充分に気持ちが通じ合えるようす。

用法

「～の仲」

つかつか tsuka-tsuka

意味

ためらうことなく、遠慮もしないで進んでゆくようす。

用法

「～と歩み寄って来る」

- ・強度：ずかずか > つかつか
- ・類似：ずかずか

つかえつかえ tsukae-tsukae

意味

つかえながら。引っ掛かりながら。とても滑らかとはいえないようす。

用法

「～ながら話す」

- ・類似：とつとつ, たどたど

つきづき 月々 tsuki-zuki

意味

月ごと。毎月。

用法

「～収める」「～の支払い」

つきづき 付き付き tsuki-zuki

意味

付き添い。そば仕え。
用法
「～の女」

つきづき - しい 付き付きしい tsuki-zuki-shii

意味
似つかわしい。ふさわしい。調和している。

つぎつぎ 次々 tsugi-tsugi

意味
(1) 次から次へと。連続している、連続してゆくこと。順繰り。 (2) …転じて、次第にものごと
が大きく、大げさに、広くなるなど転じてゆくようす。
用法
(1) 「～に事件が起きる」「～に現れる」 (2) 「話題が～に広まった」

・類似： (1) しだいしだい、じゅんじゅん、ぞくぞく (2) どしどし、どんどん、じゃんじゃ
ん、じゃかじゃか

つぎつぎ 継ぎ継ぎ tsugi-tsugi

意味
(1) 第二 (ナンバーツー) 以下に列する身分や地位。また、その人。 (2) 子孫。

・類似： (2) そんな

つくつく tsuku-tsuku

意味
用法
「～法師 (ぼうし)」=夏の終わり頃に鳴く蝉 (セミ)。その鳴き声「おおしいつくつく」と聞
こえることから略され、仏教的無常観から「法師」が付けられたようだ。

つくづく tsuku-zuku

意味
(1) 念を入れて。じっくりと。 (2) 身に沁みて。心から。

説明
文字では「熟」の字を当てているが、本来は重畳語であろう。

用法
(1) 「～(と)考えてみたけど」 (2) 「～いやになる」

・類似： (1) よくよく、つらつら

つけつけ tsuke-tsuke

意味

遠慮や加減することなく、強気に歯切れよくものを言うようす。

説明

一般には「ずけずけ(づけづす)」が使われる。

用法

「〜と憎まれ口をたたく」

・類似：ずけずけ，ぎしぎし

つじつじ 辻々 tsuji-tsuji

意味

あちらこちらの辻(＝十字型に交叉した道路)。…転じて、あちこちの街角。

用法

「〜に立っている」

・類似：かどかど，すじすじ

つつ 津々 tsu-tsu つづ 津々 tsu-zu

意味

あちらこちらの浦(＝一般的には「海辺」や「水辺」と同意)。

用法

「〜浦々」(＝いたるところの津や浦。…転じて全国いたるところ)「〜浦々まで知れわたる」

つどつど 都度都度 tsudo-tsudo

意味

(1) その都度(＝たび)ごと。毎度。(2) こまごま。詳しく。

・類似：(1) おりおり，そのときそのとき (2) こまごま

用法

(1) 「その〜に対応してきた」

つねづね 常々 tsune-zune

意味

(1) つねひごろ／いつも。普段。平生。(2) 以前から。

用法

(1) 「〜思っていた」「〜言ってきた」(2) 「〜気になっていたことだが…」

・類似：(1) いつもいつも (2) まえまえ，かねがね

つぶつぶ tsubu-tsubu

意味

(1) 動悸がするようす。 (2) 不平を言うようす。 (3) 物を切ったり、刺したり、縫ったりする間隔の粗いようす。

説明

現在は使われることはないが、現在の「ぶつぶつ」と同意。

・類似： (1) ときどき (2) (3) ぶつぶつ

つぶつぶ 円々 tsubu-tsubu

意味

とてもよく肥えている (太っている) ようす。

・類似： まるまる

つぶつぶ 粒々 tsubu-tsubu

意味

(1) とてもたくさんつぶ (粒) があるようす。 (2) 粒立つ (= 粒が発生する) ようす。 (3) 水／涙／血などが粒となってほとぼしり出るようす。 (4) 文字を放ち書き (= 続けずに一文字づつ書く) するようす。

用法

(1) 「小豆が～のまま入っている」

つやつや tsuya-tsuya

意味

(1) 少しも。いささかも。 (2) 物事をじっくり行うようす。

説明

現代用語ではない。

・類似： (1) さらさら (2) つくづく、つらつら

つやつや 艶々 tsuya-tsuya

意味

艶 (= 光沢) があって美しいようす。とても艶やかなようす。

用法

「～で血色がよい」「～しい」

・類似： ぴかぴか、てかてか、つるつる

つらつら 滑々 tsura-tsura

意味

とても滑らかなようす。

・類似： つるつる

つらつら 列々 tsura-tsura

意味

用法

「～椿」＝たくさん並んで咲く椿。

つらつら 熟々／倩々 tsura-tsura

意味

(1) 幾つものことを熟慮して。念をいれて。 (2) あれこれとたくさん（俗用）

用法

(1) 「～(と)考えるに……」「～(と)思う」 (2) 「～嘘をつく」

・類似： (1) よくよく、つくづく

つるつる tsuru-tsuru

意味

(1) 動きが、滑るようになめらかなようす。 (2) 表面がなめらかなようす。

用法

(1) 「～と滑って落ちた」「ソバを～とすすった」 (2) 「～に磨く」「～頭」

・類似： (1) すべすべ (2) ぴかぴか、てかてか

つれづれ tsure-tsure

意味

(1) つくづくと物思いにふけること。 (2) なすこともなく、ものさびしいようす。

説明

文字では「徒然」の字を当てているが、本来は重畳語であろう。

用法

「～がる」「～げな」「～と」「～草」

・類似： つくづく、つらつら

つんつん tsun-tsun

意味

(1) すまして、愛想のないようす。つっけんどん。 (2) 感覚を鋭く(つーんと)刺激するようす。 (3) 尖ったものがいくつも伸び出るようす。勢い良く突き出すようす。

用法

(1) 「～した女だ」 (2) 「鼻に～くる」 (3) 麦の穂が～伸びる」

・類似： ぶりぶり, ぶんぶん